

## 1. 教訓に学ぶ災害対策について

東日本大震災以降、本年 1 月 1 日の能登半島地震など大規模災害の発生頻度が上昇しており、市民を守る安全の確保が喫緊の課題となっています。

能登半島地震では従来の災害に対する備えだけでは十分ではない課題が発生してしまったとの報道もありました。

悲惨な災害から教訓を学び、今後の災害対策を見直す必要もあると考えますので、過去の災害から学び、対策を進めていただくため、以下について伺います。

- (1) 避難経路の一層の安全性確保
- (2) 家屋の耐震化の推進
- (3) ライフラインの復旧作業の迅速化に対する備え
- (4) 避難所の運営方法の改善及び支援体制（冬期の対応、解錠方法の多重化など）

## 2. 不登校支援策について

近年、不登校児童生徒数は増加傾向にあり、当市でも全体の 2.9%ほどになっています。昨年度は 6 名ほどの減少が見られたものの、経年的な増加傾向と学びの確保を心配しておりますので、学びを確保するための「学びの多様化学校」の設置と I C T を利用した授業支援について伺います。

- (1) 「学びの多様化学校」についての認識、設置の必要性和可能性をどのようにお考えであるか伺います。
- (2) 不登校児童生徒に対する I C T を使ったオンライン授業などの利用状況を伺います。
- (3) メタバース空間を利用した登校、授業については、どのようにお考えでしょうか。設置の可能性などを伺います。